

# 平成27年度指定管理者運営状況検証シート

県所管課	保健福祉部生きがい推進局長寿介護課
------	-------------------

平成28年3月31日現在

## 1. 施設名等

施設名 (設置年月日)	愛媛県在宅介護研修センター (平成16年4月1日)	所在地 電話 HP	松山市末町甲9番地1 089-914-0721 http://home.e-catv.ne.jp/e-zaitakukaigo
----------------	------------------------------	-----------------	---

## 2. 指定管理者

指定管理者名	特定非営利活動法人 愛と心えひめ	指定期間	平成26年4月1日 ~ 平成31年3月31日 (5年間)
--------	------------------	------	---------------------------------

## 3. 施設の概要と指定管理者が行う業務等

設置目的	介護を必要とする高齢者を支えるため、その家族、ボランティアなど一般県民に対して、在宅介護に関する研修等を行うとともに、介護に関する相談、情報の提供等を行う。	施設の外観 
施設内容	第1研修室、第2研修室、宿泊室、浴室等	
指定管理者が行う業務	①在宅介護に関する研修等の実施 ②介護に関する相談 ③介護に関する情報の提供 ④介護に関する関係団体等との連携 ⑤その他センターの施設・附属設備等の維持管理等	
施設の管理体制		
利用料金等	利用料金制 <input type="checkbox"/> 採用している <input checked="" type="checkbox"/> 採用していない 前年度からの変更 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし (変更ありの場合、その内容) —	
開館日・開館時間	開館日: 年末年始(12/29~1/3)を除く日、開館時間: 午前9時~午後5時	

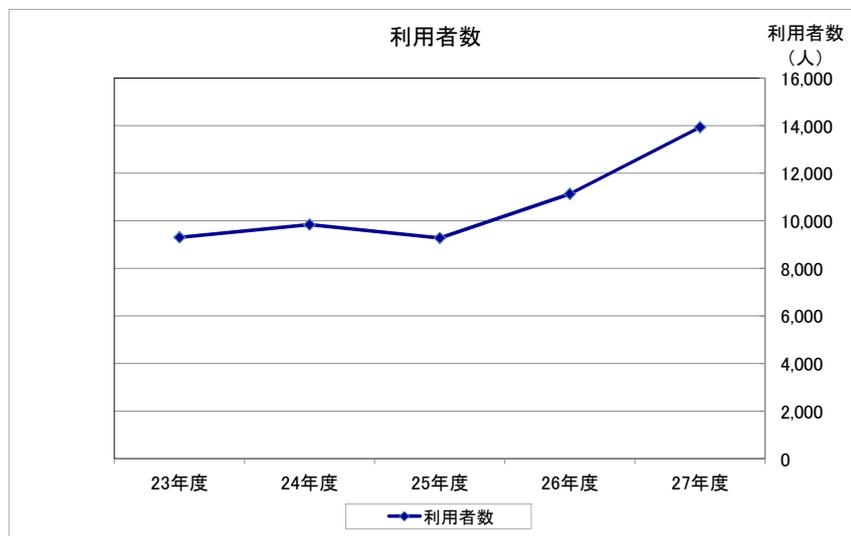
## 4. 指定管理業務に係る県の委託料(協定締結額)

年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
県委託料(千円)	42,546	42,896	42,896	44,226	44,226	44,226

## 5. 施設の利用状況

### (1) 施設の利用者数と利用料金収入

年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	対前年度増減率
利用者数(人)	9,310	9,838	9,280	11,133	13,938	25.2 %
利用料金収入(千円)	—	—	—	—	—	— %



### (2) 利用者数、利用料金収入の増減理由

対前年度増減率が±5%以上の場合、その理由

(利用者数)

受講者数がセンター開設以来過去最高(前年より25.2%増)となった主な理由としては、出前講座の大幅な伸びが挙げられる。県下各地において、地域と連携した公民館等での出前講座の開催に積極的に取り組んだ結果、今年度の出前講座の実績は183件・受講者数9,323人(昨年度:139件・受講者数6,668人)と、前年度と比較して件数は31.6%、受講者数は39.8%増加した。

(利用料金収入)

—

## 6. サービスの質向上に向けた取組み

### ア) サービス向上を図る主な取組み

(○は指定管理者制度導入以降、継続的な取組み、☆は新たな取組み、※は利用者からの要望による取組み)

平成27年度の内容	平成28年度の内容(予定含む)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○研修センターの業務紹介用パンフレットの作成・配布及びホームページへの掲載</li> <li>○主催研修の月別一覧表及び各研修ごとの内容を記載したチラシの作成・配布</li> <li>○受講者に対して研修内容及び講師等に係るアンケートを実施</li> <li>○研修用の介護福祉器具の充実及び介護関連図書・DVD等の貸出し</li> <li>○県と協力し、次の事業を実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護に関する「出前講座」及び「施設見学」の強化</li> <li>・アクティブシニア介護ボランティア養成・活用事業に伴う講座等の開催（新居浜市・松山市・八幡浜市）</li> </ul> </li> <li>※研修参加者用の荷物入れ用カゴを各席に準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主催研修のほとんどが研修センターで行われていたが、交通手段などの問題で研修センターまで来られない方もいるため、各地に向いて主催研修を開催する。</li> <li>○介護の普及啓発についてすそ野を広げるため、夏休みに中・高校生に向けた介護講座を行う。</li> <li>○研修受講者の利便性を向上させるため、土曜、日曜日にも主催研修などを開催</li> <li>○研修センターの知名度及び受講者の増加を図るため、県等と協力・連携し事業を推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護に関する「出前講座」及び「施設見学」の強化</li> <li>・アクティブシニア介護ボランティア養成・活用事業への協力</li> </ul> </li> <li>○社会福祉協議会及び地域包括支援センターと連携した研修事業の推進</li> </ul>

### イ) 利用者からの声への27年度の対応状況

利用者からの評価や苦情・要望の主な内容	利用者からの苦情・要望への主な対応状況
<p>(利用者からの評価)※アンケートから抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護に直面されている方はもちろん、これから必要かもしれない方々や、今は必要でない方にまで、大変役立つ講座がたくさんある。</li> <li>・初めて受講するが、このような研修を受ける機会を設けて頂き、大変助かる。</li> <li>・役に立つ講座がいろいろあって良い。広報などでもっと案内が欲しい。</li> <li>・重要なセンターだと思うので、どんどん発展させて頂ければと思う。</li> <li>・せっかくの施設なので、更に広める活動に力を注いで頂きたい。</li> <li>・センターは遠かったのが、出前講座はありがたい。</li> <li>・介護が必要でも、松山に泊まれるところがあることを知った。もっと広がって欲しい。</li> <li>・とても素晴らしい所で感激した(見学研修)</li> </ul> <p>(苦情・要望)※アンケートから抜粋</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①平日は仕事をしているので、土・日の研修をもっと開催して欲しい。</li> <li>②研修センターの場所や駐車場が分かりにくい。</li> <li>③2階の女子トイレでつまづいたので、何か注意を促すものが欲しい。</li> <li>④机の下に荷物を置くところが欲しい。</li> <li>⑤シリーズで出前講座が来ると、今後の介護予防やボランティア育成につながる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①認知症の介護講座や、同じ曜日に5回シリーズで実施する研修など、土・日の研修を増やして対応している。</li> <li>②研修センターの壁面に看板を設置するとともに、駐車場の看板の拡大及びパンフレットの案内地図の修正を行った。(26年度に対応済み)</li> <li>③施設内各所及び駐車場入口の段差解消・緩和を行った。</li> <li>④研修受講者の荷物入れ用カゴを、各席に準備した。その後のアンケートでは「カゴがあって良かった」という感謝の言葉が多数あり</li> <li>⑤「すぐに役立つ介護講座」(全5回)を中心に出前講座を企画し、主催研修チラシ等と併せて配布している。</li> </ol>

## 7. 27年度実績に係る施設の利用状況及びサービスの質向上に向けた取組みに関する確認・検証

指定管理者の自己検証	県の施設所管課の確認・検証意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者数13,938人で、昨年度より2,805人の増(前年度比25.2%)であった。(センター開設以来、過去最高の受講者数を記録)</li> <li>・主催研修は、一般の方々と介護職等が同席して講座を受けているが、講師の先生も専門用語等は極力控えてくださっているため、一般の方にも「分かりやすい」と好評である。</li> <li>・出前講座は、昨年度139件・受講者数6,668人に対し、今年度は183件・受講者数9,323人と、件数は31.6%、受講者数は39.8%増加している。</li> <li>これは、出前講座というシステムが、県内各地の自治会・老人会・地区社協・公民館その他に周知されて、利用しやすいものと認知された証であると考えられる。これからも介護に関する地域のネットワークづくりに寄与していきたいと思う。</li> <li>・見学研修については、施設・設備見学や介護体験をして頂いているが、介護をするうえで、大いに役立つとの評価を得ており、今後とも積極的に取り組む。</li> <li>・当センターの役割や研修事業について、パンフレット配布、福祉団体やマスコミなどを通じたPRに務めているが、今後とも、県民の介護への理解を一層深めるため、あらゆる機会を捉えて積極的なPR活動を行っていきたく考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多彩な主催研修を例年以上に開催するとともに、県下各地において、地域と連携した公民館等での出前講座に積極的に取り組み、利用者の大幅増につながった。講座を受講した方が、「地元でも講座を開催してほしい」「団体の記念講演に来てほしい」と、次の出前講座の依頼に繋がるケースが増加しており、センターでの研修内容が受講者に高く評価されていることの表れであると考えられる。</li> <li>・様々な工夫により経費節減に努めるとともに、施設・設備については適時・適切なメンテナンスがなされており、安定した運営管理が行われている。</li> <li>・利用者のニーズの把握に努めており、迅速な対応がなされている。</li> <li>・受講者アンケートでも好意的意見が多く寄せられ、利用者の満足度は高い。</li> <li>・施設・設備等の老朽化に伴い、修繕費が増加傾向にあるため、優先度を見極めたうえで計画的な予算執行に努めていただきたい。</li> </ul>

## 8. 指定管理者制度の導入による効果と課題の検証

指定管理者は、多彩な研修を積極的に展開し、本県の介護の質の向上に貢献していると高く評価できる。また、利用者の要望に的確に対応するとともに、円滑かつ安定した運営がなされており、施設・設備も適切なメンテナンスにより良好に保たれている。今後さらに進展する高齢化を見据えた時、増大する介護給付費を抑制しつつ、高齢者一人ひとりの尊厳を支えるケアを確立するためには、地域全体で助け合い支え合う社会づくりを進める必要があり、センターの存在価値はますます高くなっている。今後も引き続き、広く一般県民を対象として、生きた介護を学ぶことのできる実践的研修を展開し、利用者の満足度の向上と、地域の介護力強化に努めていただきたい。